

山行報告書

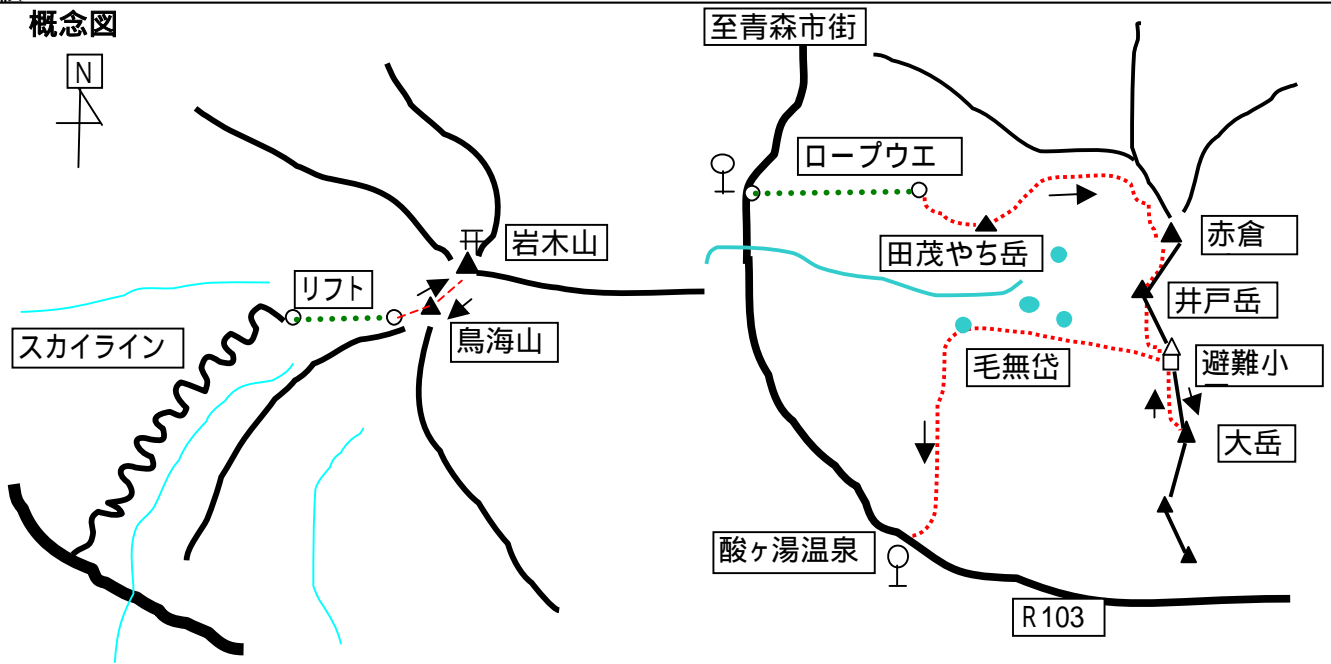
報告書作成

2005年10月23日

山名 [山域]	秋田・青森の山(白神・岩木・八甲田山)	目的と方法	東北の紅葉鑑賞と温泉
登山期間	10月7日～10日	山行形態	登山口泊ピストン、周回
参加人数	2人		

行動記録 10月7日(金)岡崎11:30発 == セントレア13:20発////秋田空港14:40着 == 能代南IC16:35 == いさりび 八タハタ館17:40～18:30 == R101 == 八森「いしづか」夕食==白神岳登山口(避難小屋仮眠)
 10月8日(土)5:30起床 == R101 == 終日観光(十二湖・ガンガラ穴・物産館コロボックル・道の駅ふかうら == 岩木山スカイライン入口16:00着 == 岩木山頂上P16:30着(車中泊)
 10月9日(日)5:00起床6:35発---岩木山 7:45着8:00発---リフト///P8:45着9:00発 == R394～R103 == 八甲田ロープウェイ乗り場11:30着12:30発///山頂公園駅---田茂やち湿原---赤倉岳 13:30～13:40---井戸岳 ---大岳分岐14:53～15:07--大岳 14:30～14:38---上毛無岱---下毛無岱---酸ヶ湯 17:04～17:25発 == バス == ロープウェイP17:40着 == 酸ヶ湯 18:00着
 10月10日(月)6:00起床7:30発 == 地獄沼 == 雪中行軍碑==青森空港10:20発///セントレア11:50着 == 岡

概念図



日誌 10月7日(金)天気も良く、ほんの1:15で秋田空港着。レンタカーを借り秋田市内でガスを購入して一路秋田・青森県境へ。いさり火 八タハタ館で入浴し、有名人もよく来るという八森の「いしづか」で夕食。二人の感想は、そんなに美味しくない。白神岳登山口に着く頃から雨が降り出し、テントを出す気になれず避難小屋で仮眠する。火の使用、宿泊は禁止とあるが、誰もいなかったのでチョットお邪魔した。後で2人入って来、朝方1人の合計5人。雨が激しく8日朝になっても止まないのので、今日の登山は中止とする。終日、あちこち観光しながら岩木山に向い、あの有名な「不老不死」にも入浴。屋久島の海中 よりも衝立があるだけ良い。岩木山スカイラインの閉鎖時間に間に合い、頂上売店で届けを出し、山頂駐車場泊を許可してもらう。すごい風とガスの中、売店の陰に隠れてご飯を炊く。他には車1台のみ。夜中には車がグラグラするような風が吹いて、翌日の天気が危ぶまれたが、日が昇るにつれて回復してきた。6:35出発し、7:45山頂着。下山は急いでいたので、リフトで降り、すれ違う人たちに何度も「もう行って来たのか!」と声を掛けられる。天気はすっかり回復し、岩木山を取り巻くりんご畑の中を走り八甲田へ。ところが近づくにつれ、だんだん車が多くなり、とうとう渋滞に陥り、駐車場に入るのも困難な状況に。一時はもう八甲田登山は無理かとも思ったが、なんとか駐車し、ロープウェイ乗り場へ。ここでも小1時間待ち、やっと乗ることが出来た。やはり紅葉の名所、時間の読みが甘かった。時間が押していたので、赤倉岳～大岳間は駆け足登山になり、やっと上毛無岱に来たときには、その紅葉の美しさになんと綺麗!と思ったが、その上毛無岱から下毛無岱を覗いた瞬間のあの感動!思わず「わ～～っ!」と誰もが声を上げるほどの美しさ。ここに来て時間が押していることなど、すっかり忘れて写真を取りまくり、「綺麗!すごい!」の連続。名残は惜しいけれど、先を急がなければならず、また来たいと思いながら、酸ヶ湯 に向う。17:00丁度に着き、これ以上遅くなったら「秋の日は釣瓶落とし」と言うとおり、すぐに暗くなってしまうので、やれやれと思いながらバスに乗って車の回収に。ロープウェイ乗り場Pに着いたときには、もう暗くなり、車を回収して酸ヶ湯 18:00着。たいへん賑わっていて、なかなか部屋に案内してもらえない。二度三度とフロントに言いに行き、やれやれ部屋に落ち着き今日の行動は終わる。まずは内風呂の「玉の湯」に入浴して、夕食を摂り、あの有名な「仙人風呂」へ。ここは本来混浴だが、8時から1時間女性専用になるので、なかなか混んでいる。湯治場の雰囲気を残した、歴史を感じさせる建物で、まるで「千と千尋」の世界。3日ぶりに畳の上で寝て、たまにはこんなゼイタクしてもいいよねと言いながら、のんびりさせてもらった。翌日は八甲田山死の彷徨